

# くずまき 議会だより



元年度決算を認定

くずまきらしさ光る取り組み

2p

元年度決算を検証 ～決算の質疑など～

6p

新庁舎建設…その後の対応は ～4議員が一般質問～

10p

笑顔のつどい ④



表紙

江刈保育園 うんどうかい  
(関連14P)



# くずまきらしさ光る取り組み

町民の安全で安心な暮らしのために

## 9月定例会議

9月定例会議は、9月4日から11日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、元年度会計の決算認定のほか2年度補正予算など14件が提出され、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問は4人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



完成した待望の町道茶屋場田子線

支出は前年度比で  
2億円減

元年度の全会計の総支出額は、73億7871万円。前年度比2億6727万円、3・5割減少しました。

一般会計の支出額は、62億874万円。前年度比2億1759万円、3・4割の減少です。グリーンテージや小学校校舎の大規模改修事業が完了したことなどが主な要因です。

三つの特別会計の支出総額は11億6996万円。前年度比4969万円、4・1割減少しました。

「町道茶屋場田子線」の堤防部分が完成し、バイパス機能のほか、災害や緊急事態発生時の代替路として防炎面の機能充実に図られました。「保育園、小中学校のエアコンの整備」や「江

## 元年度決算の状況

会計名		収入	支出
一般会計		70億 321万円	62億 874万円
特別会計	国民健康保険事業	9億4445万円	9億 854万円
	農業集落排水事業	1億9186万円	1億8575万円
	後期高齢者医療事業	7959万円	7567万円
合計		82億1910万円	73億7871万円

刈中学校の校舎改修、「公営塾の充実」などで将来の町を担う人材育成の環境を充実させました。一般会計決算の詳しい内容は、4～5ページをご覧ください。

## 繰り上げ償還を高評価

### 監査委員の意見

【概要】元年度決算はすべての会計が黒字です。普通税の徴収率が前年度を下回り、使用料などを含めた未収金は、379万円増加しており、職員の徴収に対する取り組みの創意工夫を求めます。新規事業を積極的に導入し、住民のニーズを的確に捉えています。「町

道茶屋場田子線の改良」のほか「くずまき出会いサポート事業」や「健康管理システムの導入」など課題であったソフト面でも成果が出ています。公債費の繰り上げ償還を前年度に引き続き行い、将来予想される一般財源の硬直化対策に、いち早く取り組みられたことは高く評価します。

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく元年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標		元年度	30年度	比較
実質赤字比率	(15%)	赤字なし	赤字なし	-
連結実質赤字比率	(20%)	赤字なし	赤字なし	-
実質公債費比率	(25%)	7.6%	6.3%	1.3
将来負担比率	(350%)	なし	16.2%	皆減

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。  
※実質公債費比率とは、地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。



町長に決算監査の意見書を提出する監査委員

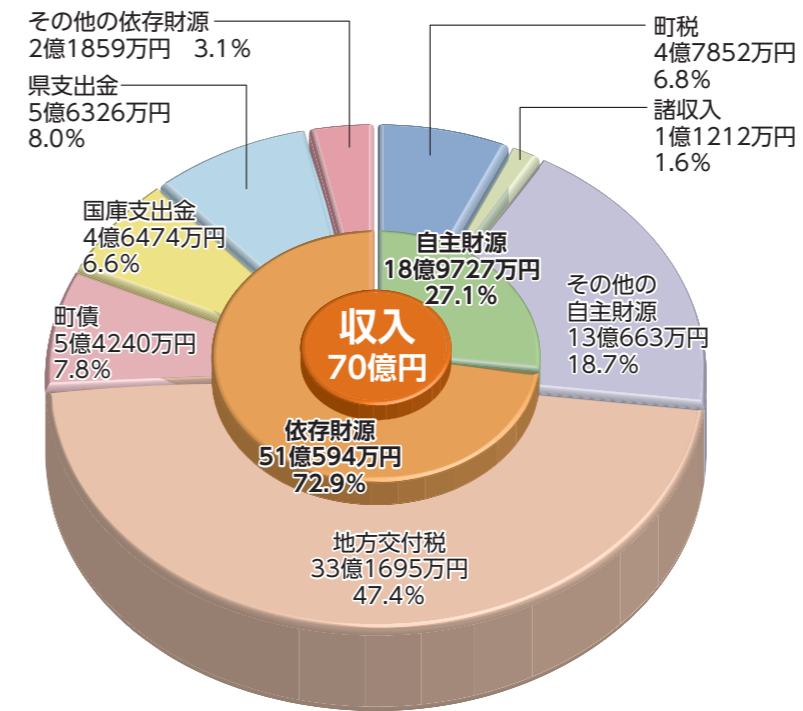
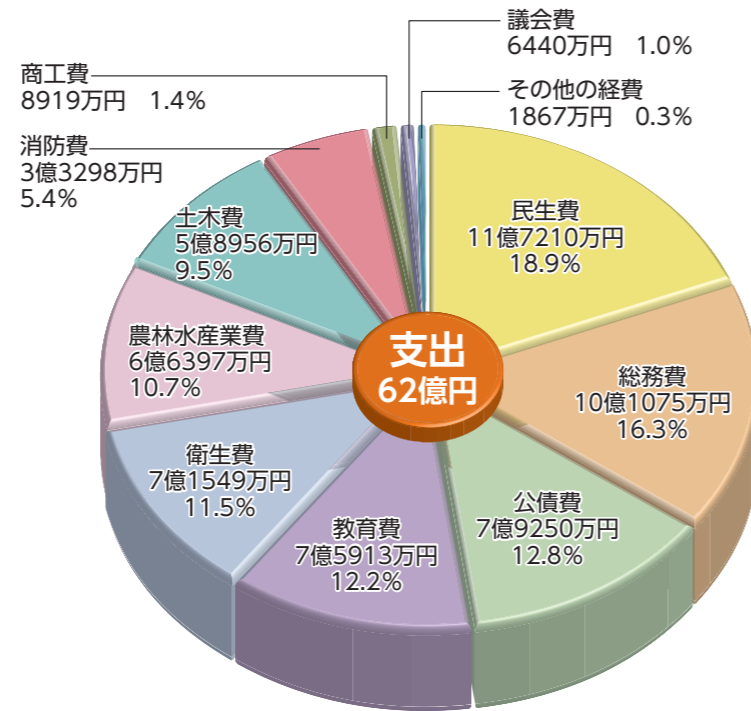


# 元年度一般会計決算を見る

## ハード事業完成により支出減

## 町債は前年度より36%減少

項目	内容
総務費	町の財産管理や町税の事務などに充てる経費
民生費	高齢者や障がい者、保育所運営など社会保障に充てる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
衛生費	保健・衛生・環境などの業務に充てる経費
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業に充てる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理に充てる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などに充てる経費
消防費	防災や災害時の活動などに充てる経費
災害復旧費	災害復旧工事などに充てる経費
議会費	議会の運営に充てる経費
その他の経費	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



項目	内容	
自主財源 〔町が自力で入ることができるお金〕	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町税の延滞金や預金利子など
	その他の自主財源	保育料など、他の収入科目に含まれないお金
依存財源 〔国・県などから割り当てられるお金、交付〕	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

### 支出を町民一人当たりになると

**子どもへの仕送り**  
80,000円  
繰出金 7.7%

**食費**  
135,000円  
人件費 12.9%

**医療費など**  
92,000円  
扶助費 8.8%

**住宅ローンなど**  
133,000円  
公債費 12.8%

**年金掛金 保険料など**  
271,000円  
負担金など 25.8%

**家の増改築など**  
174,000円  
建設事業費 16.7%

**光熱水費など**  
160,000円  
物件費 15.3%

**1,045,000円**  
(2年3月末の人口) 5,940人

30年度より増改築の費用が5万円減ったわ

**収入総額**は70億3211万円、前年度比2億1799万円、3・0割の減少です。

歳入全体の47割を占める地方交付税は33億1695万円、前年度比8978万円、2・8割増加しました。

町債(借入金)は5億4240万円、学校施設環境改善事業やグリーンテージの大規模改修などハード事業完成により前年度比3億1204万円、36・5割減少しました。

町税は4億7852万円、前年度比130万円、0・3割増加しました。

**支出総額**は62億8747万円、前年度比2億1759万円、3・4割の減少です。

農林水産業費は6億6397万円、草地畜産基盤整備事業費の増など

総務費は10億1075万円、基金積立金の減などにより前年度比2億2499万円、18・2割減少しました。

公債費は、7億9250万円、繰り上げ償還により前年度比8484万円、12・0割増加しました。

**基金(貯金)** 残高は56億3976万円、前年度比1億7764万円、3・1割減少しました。

**町債(借入金)** 残高は76億6788万円、前年度比2億1918万円、2・8割減少しました。

教育費は7億5913万円、山村留学生宿舎建設に係る建設工事により前年度比1億4564万円、23・7割増加しました。

により前年度比1億7263万円、35・1割増加しました。



輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月9日に各会計の元年度決算の審査を行い、予算が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果や状況はどうだったのか確認しました。

主な質疑の内容をお知らせします。

## 財源の確保 住民会計

**問** 自主財源確保のための取り組みは。

**答** 町税は、徴収対策本部を立ち上げ対応を検討。期限内納付の推進や滞納解消に努めている。徴収率向上のため、口座振替の推奨やコンビニでの納付など利便性を図っている。

町税以外では、財産収入などのほか、ふるさと納税制度による寄付金確保にも力を入れている。財政調整基金をはじめ各種基金（合計約56億円）を活用し、弾力性のある

## 予算執行 総務

財源確保に努めている。

**問** 一般会計の執行率は70割となっているが、どう評価しているか。

**答** 2年度へ繰り越した事業費が約20億円あり、これを除く実質の執行率は92割であり、目標は95割としている。

不用額は、年度末の3月の最終補正で調整しているが、対応が難しい事業などもある。経費節減を念頭に事業を実施したことも、執行率の低下となった要因である。

## 情報教育 こども教育

**問** 情報教育やICT活用教育など、児童生徒を指導する教員の研修は、十分行われているか。

**答** 教員には随時対応しており、今後必要に応じて研修へ派遣していく。

## 町屋の活用 まちづくり

**問** 町屋（新町の旧遠藤邸）を280万円かけて修理しているが、活用状況や貸し出し方法はどうか。

**答** トイレの水洗化、流し場の設置などを行った。DMOの各部会や秋まつり実行委員会の本部事務所、クラフト市などで活用されている。

町有財産として、申請により貸し出ししているが、手続き方法などを含む

## 収入未済額 こども教育

**問** 収入未済額は多額ではないが、件数が増えている。要因は何か。

**答** 保育料と口座振替システムの入力ミスによる



水洗化された旧遠藤邸のトイレ

ものや、山村留学生寄宿舎の使用料などである。いずれも今年6月末には納付となっている。

※収入未済額 当該年度の収入として、出納整理期間（会計年度終了後の翌年度の4月1日から5月31日まで）に納入されなかった額。

## 不納欠損 住民会計

**問** 町税や国保税の収納率を高めるため、法律に基づき不納欠損の処理をすべきではないか。

**答** 不納欠損の事務処理は進めているが、滞納の

## 協力隊員 まちづくり

**問** 地域おこし協力隊員

うち死亡者案件が約25割を占めるため、財産の調査や督促、分納誓約など確定させる手続きが進んでいない状況である。



山村留学生（手前）と談笑するハウスマスター

※不納欠損 徴収すべき債権が、時効が消滅するなど理由により徴収できないことを決定すること。

※ハウスマスター 勉強や日々の生活、将来のことなど、さまざまな面で相談のり、全面的にサポートする役割の人。

## 賛成討論（要約）

茶屋場田子線が完成 繰り上げ償還を評価



山崎 邦廣 議員

元年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成します。

待望の路線「町道茶屋場田子線」は、懸案であった災害時などにおける迂回路、代替道としての機能を有するほか、まちなかを周遊する観光に、新たな可能性をもたらしました。

新たに完成した山村留学生寄宿舎は、居室16室、定員32名で、これまで実施してきた山村留學制度

の充実が一層図られるなど、葛巻高校の存続、発展に向けた先駆的なものです。

さらに、保育園、小中学校には新たにエアコンを設置したほか、江刈中学校の校舎改修工事が行われました。今後も、まちの将来を担う人材を育む環境整備を望みます。

町債の繰り上げ償還など、将来を見据えた財政健全化対策が講じられていることも評価します。

一般会計は、各種事業が効率的・効果的に執行されたことを評価します。

特別会計は、それぞれ求められる役割を十分果たす内容であり、引き続き町民の暮らしを守るため、安定的経営に努めていただきたい。

## 反対討論なし



9月定例会議で人事案件や条例改正、2年度補正予算などの審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

人事案件

- 教育委員の同意  
村木佳子さん(五日市)、土谷美保子さん(元木)を再任することに同意。任期は6年9月30日まで。

請負契約

- 防災行政無線デジタル化工事  
◇契約額 5820万円  
◇工期 3年3月18日  
◇契約相手 日東通信(株)岩手支店【盛岡市】
- ◇内容 国の規則改正により、4年12月以降アナログ方式は使用できなくなるため、無線機器のデジタル方式への更新や中継基地局を変更し、実用性を向上させるもの。

補正予算

- ◇内容 タブレット型パソコンの整備(ソフト含む)。一人一台として児童生徒・教師用326台
- ◇一般会計(第5号)  
5億1352万円追加し、総額を87億3434万円としました。  
主な内容は、7月豪雨災害の災害復旧費に1億4100万円など。  
※下表参照

補正予算の主な内容

会計名など	補正額	補正後の予算額
一般会計(第4号) ※7/15 専決処分	3369万円	82億2081万円
<b>主な使いみち</b> ■災害(7/11～12発生)の応急復旧費、本復旧工事に向け災害査定 の設計業務など……………3369万円		
一般会計(第5号)	5億1352万円	87億3434万円
<b>主な使いみち</b> ■基金への積み立て……………2億4999万円 ■7月豪雨災害の災害復旧費……………1億4100万円 ■草地畜産基盤整備事業(畜舎整備など)……………2944万円 ■経営継続支援事業……………2760万円 ■プレミアム商品券事業(冬季分)……………1370万円		

条例

- 職員の特殊勤務手当に関する条例の改正  
国に準じ、新型コロナウイルス感染症に対処した場合の、防疫作業手当に関して定めるもの。適用は2年4月から。

財産取得

- 学校情報機器  
◇契約額 2244万円  
◇納期 3年1月31日  
◇契約相手 テクノ(株)【盛岡市】

意見書

- 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出  
計画的な教職員定数の改善を推進することや、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することなどを求める請願を、審査の結果「採択」と決定し、内閣総理大臣などに意見書を提出しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出  
地方の安定的な財政運営に必要な地方交付税などの一般財源総額の確保・充実を求めることなど5項目について、内閣総理大臣などへ意見書を提出しました。

【主な質疑】

商品券事業

問 冬季のプレミアム商品券事業のうち、事務費120万円の使いみちは。  
答 商品券の印刷代や周知のチラシなどの経費について、商品券取扱店がそれぞれ手数料として負担していたものを補うもの。

地方交付税

問 交付税の見込みは。  
答 今年度の交付額は、総額31億4000万円と決定され、前年度比較で6・9割増額となった。  
主な要因は、地域社会再生事業が創設され、約1億円が増となっている。

避難所の設営

問 簡易ベッドや間仕切りを購入するが、避難所用としてはどの程度配置  
答 スペースの関係などから今回購入分は、町内の比較的大きな避難所4～5カ所に配置する予定。必要に応じ、他の避難所への持ち込みを想定している。

議員の判断(議決結果)

議案番号等	件名と主な内容	議決	賛否
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための請願	採択	全員賛成
議案第40号	2年度一般会計補正予算(第5号)…災害復旧費、基金の積立金、草地畜産基盤整備事業費などを増額	可決	全員賛成
議案第41号	職員の特殊勤務手当に関する条例の改正…国の例に準じて、新型コロナウイルス感染症に対処した場合の防疫作業手当に関して定めるもの	可決	全員賛成
議案第42号	防災行政無線デジタル化工事の請負契約の締結…中継基地局の変更や車載型無線機器を更新 ◇契約金額5820万円 ◇工期3年3月18日	可決	全員賛成
議案第43号	財産の取得…小中学校の情報機器の整備(タブレット型パソコンほか・児童生徒及び教員分326台) ◇契約金額2244万円 ◇納期3年1月31日	可決	全員賛成
認定第3号	元年度一般会計決算の認定	認定	全員賛成
認定第4号	元年度国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定	認定	全員賛成
認定第5号	元年度農業集落排水事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成
認定第6号	元年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成
同意第4号	教育委員の同意…村木佳子さん(五日市)の再任	同意	全員賛成
同意第5号	教育委員の同意…土谷美保子さん(元木)の再任	同意	全員賛成
同意第6号	固定資産評価審査委員の選任…野表儀昭さん(田子)の再任	同意	全員賛成
発委第2号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	可決	全員賛成
発委第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	可決	全員賛成

Next page  
一般質問  
今ここが聞きたい

9月8日、4議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

10ページ  
柴田 勇雄 議員

- ①町民の関心度が高い出直し後の新庁舎建設に係る対応等について
- ②袖山高原と上外川高原の更なる魅力づくり等について

11ページ  
近藤 聖 議員

- ①役場新庁舎周辺の道路等の整備について

12ページ  
遠藤 裕樹 議員

- ①新型コロナウイルス感染拡大における新たな対応と対策は
- ②道路における歩行者の安全確保について
- ③若者人口の減少についての対策は

13ページ  
山崎 邦廣 議員

- ①高校生の地域留学のための高校魅力化支援事業について



青森県田子町議会の議員の皆さんが、一般質問の研修のため来町されました。





こんどう きよし 近藤 聖 議員

### 問 新庁舎周辺の道路等整備の方向は

### 答 工事進捗状況を見ながら調整

**下町田子線の整備**  
**議員** 病院横から茶屋場田子線合流点までの道路等の整備計画の概要は。  
**町長** 町道役場線は工事車両等の安全確保のため、仮設的に道路を拡幅した。場所により高低差があるので、進入路及び緊急車両や通院バスの導線などを、新庁舎建設を勘案しながら進める必要があり、調整を図りながら進めたい。歩行空間の確保や国道からのアクセスのしやすさなど、町道の機能と活用を最優先に考えていく。  
**議員** 八幡宮下の道路は落石で事故が発生する可能性がある。交通量の増加を考え、早急な危険防止策が必要ではないか。  
**建設水道課長** 危険は十分認識しており県とも協議している。具体的な工事計画はまだないが、今後

対応・対策を考えていきたい。  
**議員** 田の沢川用水路の地中化を考えているか。  
**建設水道課長** 防災面や冬季の雪の処理を考え、全面地中化は考えていない。  
**議員** 病院横は道幅が狭く途中は水たまりができてやすい。病院完成後、通行量が増え、通学路でもあり大変危険である。また、夜間の通行時大変暗く防犯上からも街路灯が必要である。抜本的な改良の計画はあるか。



見通しが悪く狭いところもある町道下町田子線

**副町長** 道路拡幅は難しいが、新庁舎完成後の人の流れを考え、車両通行禁止など安全対策を講じる予定である。  
**建設水道課長** 新庁舎建設に合わせ、計画的に街路灯・防犯灯などの設置を考えるたい。  
**議員** 樹木・植栽など新庁舎周辺の環境整備は、政策秘書課長 町民の憩いの場として、工事と並行し新庁舎周辺の一体的な整備を考えていく予定である。

**取付道路について**  
**議員** 町道茶屋場田子線から新庁舎・病院への取付道路を設置する考えは。  
**町長** 町道と敷地の高低差が大きく病院側への取付は困難である。敷地の有効利用・技術的経済的観点・運用面・安全対策・防災面でのリスク対策などを考慮し検討したい。  
**旧遠藤邸跡地の活用**  
**議員** 旧遠藤邸の敷地をどのように活用、整備していくのか方向性を伺う。  
**町長** ぐずまき観光地域づくり協議会で「まちなかエリアビジョン」に沿って、蔵を含めた活用計画の検討を進めている。広場や公園など、まちなかの玄関口として町民や観光客が立ち寄れる憩いの場、まちなかの賑わいが創出される空間となるよう取り組む。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

### 問 出直し後の新庁舎建設を問う

### 答 新庁舎は4年度の竣工を目指す

**新庁舎建設の情報提供**  
**議員** 新庁舎建設事業に係る進捗状況の情報提供は適時適切か。  
**町長** 新庁舎建設事業に限らず、町で実施する事業などについては、作業の進捗状況などを踏まえながら議員の皆さんをはじめ町民の皆さんと情報共有できる段階までの調整を図ったうえで、適時適切な時期に情報提供を行ってきた。  
**議員** 完成までの主なスケジュール概要は。  
**町長** 再設計に係る費用については補正予算を計上し、承認いただいたことから速やかに再設計に係る業務委託の作業を進め、すでに契約・発注に至っている。  
 工事発注時期は、議会12月定例会議において工事請負契約の締結について議決が得られるよう進



もうすぐ本格稼働となる上外川高原の風車

めている。  
 入札の実施方法については、指名競争入札を予定しているほか、発注区分については建築工事などと電気設備工事を分離して発注する予定としている。  
 完成の時期は、令和4年8月頃を見込んでいる。その後、2期工事分として現庁舎の解体、分署棟、車庫棟の建設など、すべての工事の完了時期は、令和5年10月頃の見込みである。  
**上外川高原の観光誘客**  
**議員** 風車が無くなった袖山高原と風車が増設された上外川高原の観光誘客構想は。  
**町長** 袖山高原の風力発電は、令和元年8月を

もって事業を中止し、風車が撤去されたところである。  
 しかしながら、袖山高原には、高原に広がる牧場、馬淵川の源流、岩手20名山の遠別岳への登山道など観光資源もあり、こうした魅力を一体的に発信していくことで、観光客の誘客に努めたい。  
 上外川高原の風力発電については、現在建設中の22基を合わせた34基で令和2年12月からの稼働を目指している。  
 こうしたことから、今後、上外川高原には多くの観光客や視察者などが訪れると予想される。  
 そのため、観光客等の受入環境として「駐車場」「東屋」「トイレ」「展望施設」などを整備することで、風力発電施設の設置者である電源開発株式会社との間で現在協議を進めているところである。

もって事業を中止し、風車が撤去されたところである。  
 しかしながら、袖山高原には、高原に広がる牧場、馬淵川の源流、岩手20名山の遠別岳への登山道など観光資源もあり、こうした魅力を一体的に発信していくことで、観光客の誘客に努めたい。  
 上外川高原の風力発電については、現在建設中の22基を合わせた34基で令和2年12月からの稼働を目指している。  
 こうしたことから、今後、上外川高原には多くの観光客や視察者などが訪れると予想される。  
 そのため、観光客等の受入環境として「駐車場」「東屋」「トイレ」「展望施設」などを整備することで、風力発電施設の設置者である電源開発株式会社との間で現在協議を進めているところである。





やまざき くにひろ  
山崎 邦廣 議員

## 問 高校魅力化支援事業の体制は

## 答 高校を核に共同事業体により推進

**推進の体制**

**議員** 事業の推進体制構築と高校との連携についてその考え方を伺う。

**町長** この事業は、地方創生政策のモデルの一つとして、地方の高校を全国から高校生が集まる魅力的な高校にする取り組みとして、今回、全国で12校が採択され、その1校に葛巻高校が選ばれたものである。

推進体制は、葛巻高校を核に教育の関係者、町産業振興協議会など地域の多様な関係者のほか、大学など教育機関を含めた共同事業体・コンソーシアムを組織し、高等学校教育の充実と地域産業の発展に協働して取り組むことを想定している。

事業目標を「地球規模の課題に果敢に挑む、地域・社会に貢献できる人材を目指す」とし、具体的に「地域と協働した魅力的な学校づくり」「地域に開かれた

教育プログラムの研究開発」「葛巻高校及び町の魅力の情報発信」「コンソーシアム持続化のための仕組みづくり」の四つに取り組んでいく。

地域留学生の教育プログラムでは「総合的な探求の時間」において、選択制体験セミナーなどの「共通プログラム」とホームステイやワイナリーなどでのインターンシップなどの「選択プログラム」の二つを留意している。

地域留学生には、「自ら学び、自ら考える力」「地域課題を解決する力」「地域のよさを発信する力」を



生徒らとのコミュニケーションをかかさない高校魅力化コーディネーター

※コンソーシアムとは…互いに力を合わせて目的に達しようとする組織や人の集団。共同事業体。

身につけてもらいたいと考えている。

**コーディネーターの役割**

**議員** 想定される役割は、広範多岐にわたるが、詳細を伺う。

**町長** 主な役割は、「コンソーシアムの組織と運営」のほか、地域留学生の学び支援、地域外からの生徒募集戦略設計と実施などが挙げられる。

また、生徒受け入れの環境整備などや大学や民間企業などと連携した新規事業、他地域との連携と協働などにも取り組ん

でいただくこととなる。

**事業の成果検証**

**議員** 事業は5年間の継続事業だが、在籍高校や留学生との連携は、どのように考えているか伺う。

**町長** 本事業の狙いは、「将来の地域の担い手育成とともに、高校を核とした地域活性化」であり、地域留学生には、食料、環境、エネルギー分野のスペシャリストとして地域社会へ貢献、持続可能な社会の創り手となることを期待している。

また、留学生派遣先の高校との学校間交流、地域間交流に発展させることで、「地域留学生」を中心とした新たな関係人口、交流人口の創出など地域課題解決の一助となることも期待している。

少子高齢化が進むなか、児童生徒の教育環境充実に積極的に取り組む町として、しっかり進めていく。



えんどう ひろき  
遠藤 裕樹 議員

## 問 若者人口の減少対策は

## 答 若者雇用へ発信力を強化

**担い手不足への対応**

**議員** 若者人口の減少について町の将来に重大な懸念があるがどうか。

**町長** 主な要因として魅力ある就労環境や安定的な雇用環境が不足していること、Uターン者に対する支援策が不足していることが考えられる。

「安定的な雇用の確保」「地域の魅力発信」「マッチングの支援」「町外への転出抑制とUターンの推進」が図れる施策を展開しながらインターンシップ事業の「酪農版」をスタートさせ新たな農業の担い手確保に取り組んでいる。

商工業者における後継者の確保についても、継業支援事業など新たな制度を創設しながら、商工会や関係者と連携し後継者や担い手確保に取り組んでいる。

**交通環境の整備**

**議員** 道路における安全確保について、茶屋場田子線への街路灯の設置、国道281号線の歩道整備、遊歩道の整備についての考えは。

**町長** 町道茶屋場田子線の街路灯の設置は来年度の整備を検討しており、また281号線については必要な安全確保対策を県と協議し対応する。また、「まちなか」を



インターンシップで酪農の体験をする参加者

※マッチングとは…組み合わせること（ここでは町内の企業などと若者やU・Iターン者の仕事について）  
 ※インターンシップとは…学生が興味のある企業などで実際に働いたり、訪問したりする職業体験のこと。業務の内容や働くことの理解を深めることが目的  
 ※ウイズコロナとは…新型コロナウイルスが（少なくとも短期的には）撲滅困難であることを前提とした新たな戦略や生活様式のこと

周遊できるルートづくりや周辺の整備と併せ、安全な散歩などができるような環境整備についても検討する。

**感染拡大の備え**

**議員** 新型コロナウイルス感染拡大への新たな対応と対策はどうか。

また、ウイズコロナの新しい生活様式への対応は。

**町長** 県内に感染者が確認され、全国でも感染が拡大している中「地域外

来検査センター」など新たな検査体制をとり、医療崩壊を起こさないよう、一層県と市町村の連携した医療提供体制が整えられている。一方、新しい生活様式の普及・定着が重要であり、町民への協力を引き続きお願いする。

仮に町内で感染者が確認された場合、感染者はもとより、家族や濃厚接触者の方のケアや検査・調査体制はしっかりと整えている。

ウイズコロナでの生活と対応は、冬に向かいインフルエンザ流行も考えられることから、これまで以上に感染者対策に留意していくとともに、高齢者や基礎疾患を持つている方々への感染予防を徹底する。一人一人が感染や予防を徹底し、慎重に行動することが求められることから、町民の理解と協力をお願いしたい。



# くずまきの笑顔

## 江刈保育園 うんどうかい



江刈保育園（中崎廣子園長：園児16人）では9月12日、運動会が開催されました。雨の予報もなんのその。子どもたちは雨もコロナも吹き飛ばすような笑顔で、元気なパフォーマンスを披露してくれました。

### 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	12,500円	（警察官友の会総会ほか）
8月	7,500円	（岩手地区議会議長会県内実行運動）

9月の支出はありません

次の定例会議は**12月4日(金)**です。

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約72円で作成されています。  
印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

**編集後記**  
 厳しい残暑が続き、熱中症の方が出るかと心配しております。9月議会は令和元年度決算認定審議が中心でした。町民の皆さんにはコロナ関連の補正予算審議が、より身近な内容だったかと思えます。議事の経過や議会だよりなどで気づいたことがあります。遠慮なくご意見をお寄せください。  
 広報常任委員会  
 委員 近藤 聖

森林認証した紙を使用しております。

